

大阪府指定出資法人評価等審議会 委員意見（評価、指導・助言）【8月7日】

| 法人名 | 委員意見 | 従前 | 修正後 |
|-----------|--|--|---|
| 大阪高速鉄道(株) | 未達成となった「設備投資額」について、「指導・助言」の内容も含め、「評価」に記載されている。特に安全性の確保のための投資については、計画的に実施する必要があるので「指導・助言」に分けて記載すべき。 | <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重点目標である「設備故障等自社責任による20分以上の遅延発生回数」をはじめ、7項目中6項目の目標を達成できており評価できる。 ・「設備投資額」については、予定していた工事の完了・納品が遅れたため目標未達成となっており、計画的に設備投資を進めることが求められる。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とした地震により運行が休止した際、その復旧に時間を要したため、利用客に大きな影響が生じた。そのことを踏まえ、予防対策及び早期復旧策の検討をはじめ、更なる災害対策の強化を行うこと。 ・今後の門真市以南への延伸、安全やサービス向上にかかる大規模な投資を踏まえ、利用者の確保や駅ナカコンビニ等の兼業事業の実施による収益確保に積極的に取り組み、引き続き経営基盤の強化に努めること。 | <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重点目標である「設備故障等自社責任による20分以上の遅延発生回数」をはじめ、7項目中6項目の目標を達成できており評価できる。 ・「設備投資額」については、予定していた工事の完了・納品が遅れたため目標未達成となっている。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とした地震により運行が休止した際、その復旧に時間を要したため、利用客に大きな影響が生じた。そのことを踏まえ、予防対策及び早期復旧策の検討をはじめ、更なる災害対策の強化を行うこと。 ・安全安定輸送の確保のための設備投資を行う際は、事情変化を見込んだ工期・発注時期を設定するなど計画的な実施に努めること。 ・今後の門真市以南への延伸、安全やサービス向上にかかる大規模な投資を踏まえ、利用者の確保や駅ナカコンビニ等の兼業事業の実施による収益確保に積極的に取り組み、引き続き経営基盤の強化に努めること。 |
| 大阪府土地開発公社 | 「研修の受講率」や「全職員の理解度の割合」といった成果測定指標について、研修体系を含めて、より専門性の確保・継承に結びつくような取組みを再検討いただきたい。 | <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重点目標である「用地取得の進捗率」をはじめ全ての目標を達成しており、着実に用地取得を実行し、府などの事業推進に寄与した点は評価できる。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期保有資産の解消に向けて、府と十分協議を行い、その計画的な処分を進めるとともに、借入金にかかる金利負担の軽減など経営コストの削減に引き続き努めること。 ・用地取得の効率化に資するよう、組織力の向上による専門性の確保・継承の取組みに、より一層努めること。 | <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重点目標である「用地取得の進捗率」をはじめ全ての目標を達成しており、着実に用地取得を実行し、府などの事業推進に寄与した点は評価できる。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期保有資産の解消に向けて、府と十分協議を行い、その計画的な処分を進めるとともに、借入金にかかる金利負担の軽減など経営コストの削減に引き続き努めること。 ・用地取得の効率化に資するよう、より専門性の確保・継承に結びつくような新たな取組みを検討すること。 |
| 堺泉北埠頭(株) | マイナス目標としたにも関わらず、目標を大きく上回る指標がいくつか見受けられる。目標設定を精緻に行うよう指導・助言に入れるべき。 | <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての目標を達成しており評価できる。特に「純資産額」については、前中期経営計画の目標値を上回る目標を設定した上で達成しており、高く評価できる。 ・埠頭運営事業については、新たな利用者を開拓し荷捌地の利用稼働率の向上が図られるなど、法人の積極的な営業活動が効果を発揮している。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埠頭運営事業については、ポートセールス等の積極的な営業活動や質の高い利用者サービスの提供に引き続き取り組み、埠頭の更なる利用促進・活性化に努めること。 ・平成30年4月に策定した中期経営計画に基づき、引き続き着実な利益の確保等、安定的な経営基盤の維持に努めること。なお、平成30年4月に府から移管を受けた上屋については、計画的な補修を行うとともに利用者の拡大に取組むこと。 | <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての目標を達成しており評価できる。特に「純資産額」については、前中期経営計画の目標値を上回る目標を設定した上で達成しており、高く評価できる。 ・埠頭運営事業については、新たな利用者を開拓し荷捌地の利用稼働率の向上が図られるなど、法人の積極的な営業活動が効果を発揮している。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埠頭運営事業については、ポートセールス等の積極的な営業活動や質の高い利用者サービスの提供に引き続き取り組み、埠頭の更なる利用促進・活性化に努めること。 ・平成30年4月に策定した中期経営計画に基づき、引き続き着実な利益の確保等、安定的な経営基盤の維持に努めること。なお、平成30年4月に府から移管を受けた上屋については、計画的な補修を行うとともに利用者の拡大に取組むこと。 ・目標設定にあたっては、目標値の妥当性を検証するとともに、引き続き着実な事業執行に努めること。 |